

一般的な電子サービスの設定

AlmaとPrimo VEの統合に関するトレーニングセッションへようこそ

このセッションでは、Primoで一般的な電子サービスを設定する方法をご紹介します

Primoでは、一般的な電子サービスはフルレコードディスプレイに表示されます

一般的な電子サービスは、図書館の機能やリソースへのアクセスを提供するために、図書館が定義できるリンクです

リンクを[オンラインアクセス]、[Get It]、[リンク]セクションに表示されるように設定できます

サービスの種類としては、図書館間貸出サービスへのリンク

Google Scholar、Books in Print、Amazonでアイテムを検索するためのリンク

図書館員への質問サービスなどが考えられます

[設定]+

[フルフィルメント]+

[ディスカバリーインターフェイスの表示ロジック]+[一般電子サービス]で、どのように設定されているかを確認できます

サンドボックスで設定した電子サービスのリストは次のとおりです

これらのルールの1つを調べて、どのように設定されているかを見てください

このサービスは有効になっています

サービスコード、名称、説明を確認できます

パブリック名は、Primoでのリンクの表示を定義します

このサービスは図書館間貸出サービスではないため、ここでは「いいえ」を選択します

これは、サービスがフルレコードのリンクセクションに表示されることを意味します

一般的な電子サービスを作成するには、サービスのURL構文に精通している必要があります

URL構文には、サービス自体から特定の情報を検索/アクセスするために必要なパラメーターが含まれます

Amazonのリンクには、特定のURLと

入力されるISBNまたはISSNパラメーターがあります

また、[サービス利用可否]タブでは

サービスは、ISBNがレコードに存在する場合に表示するように設定されています

別のものを見てみましょう

記事と書籍ではURLテンプレートが異なるため、2つのILLiadルールがあります

1つ目から説明します

このサービスは図書館間貸出サービスであるため、ここでは「はい」を選択します

[はい]が選択されたため、[View it]、[Get It]、および[How to Get It]セクションにサービスを表示するオプションがあります

Primoユーザーは、このサービスを表示するためにログインする必要があります

リソースが機関によって所有されていて、それを利用可能な場合

サービスは無効になります

また、[利用可否性ルール]タブでは、資料タイプが記事/ジャーナルの場合に表示されるサービスが設定されています

一般的な電子サービスの例でした

ありがとうございました